■■ 医療通訳フォーラム２０１７ ｉｎ 糸魚川 ■■

～　医療通訳システムのことを糸魚川から考えよう！～

　「大都市と小都市」、「点から面へ」をキーワードに、医療通訳システムの構築・運営のあり方と通訳人材の効果的な育成方法を議論します。あの大火事の糸魚川を医療通訳で盛り上げましょう！！

□　日時／会場　　2017年７月９日（日）11時00分から17時00分／フォッサマグナミュージアム

　　　　　　　　　（糸魚川駅　バス10分、タクシー10分：糸魚川市大字一宮1313（美山公園内））

□　主催　　　　　糸魚川国際人材サポート協会（ＩＩＳＡ）

□　協力　　　　　ＲＡＳＣコミュニティ通訳支援センター（Ｃｏｔｓ）

□　参加費　　　　3,000円（当日お支払い）

□　申込方法　　　名前（ふりがな）、所属（あれば）、参加希望の分科会を記載の上、info@rasc-cots.jp

　　　　　　　　まで（携帯メールの場合は携帯番号も）

□　内容

　(1) 主催者あいさつ　糸魚川国際人材サポート協会（ＩＩＳＡ）　理事長　猪又勝代

(2) 基調講演「医療通訳システムの現状と課題」　Ｃｏｔｓ　代表　西村明夫　氏

　 全国各地域の医療通訳システムと研修講座の現状と課題などを比較検討し、分科会とパネルディス

 カッションの議論につなげる。

(3) 分科会（13:00～14:50）

　　▆ 分科会１「全国各地域の医療通訳システムの比較検討」

　・コーディネーター：医療通訳研究会（ＭＥＤＩＮＴ）代表　村松紀子　氏

　・事例報告：ＭＩＣかながわ　副理事長　岩元陽子　氏

　　　→　大都市の事例：医療通訳派遣システムの構造、課題などを報告

　・事例報告：伊賀の伝丸　代表理事　和田京子　氏

　　　→　小都市の事例：財源の確保方法、病院との連携、市役所との関係などを報告

　・事例報告：なら多言語医療通訳サポート　代表　下村晴香　氏

　　　→　観光都市の事例：100％市民の取組、病院との関係、市役所との関係などを報告

　　▆ 分科会２「医療通訳人材の効果的な育成方法の開発検討」

　　　　・コーディネーター：新潟県立大学教授　坂口　淳　氏

　　　　・事例報告：ＲＡＳＣコミュニティ通訳支援センター（Ｃｏｔｓ）副代表　三木紅虹　氏

　　　　　　→　Ｃｏｔｓが試行している簡易研修プログラム、テキスト使用の効果の報告

　　　　・模擬通訳の実演：Ｃｏｔｓ　上野一行　氏　→　模擬通訳Ｃｏｔｓモデルの実演

　　　　・事例報告：りんくう総合医療センター国際診療科 部長、大阪大学（大学院医学系研究科）

　　　　　国際・未来医療学講座 特任准教授　南谷かおり　氏

　　　　　　→　医療通訳人材の育成：医療通訳養成から独り立ちまでのステップ

(4) パネルディスカッション（15時00分～17時00分）

「大都市・小都市・観光都市の医療通訳システム：点から面への普及と効果的な人材育成」

・コーディネーター：ＲＡＳＣコミュニティ通訳支援センター　代表　西村明夫　氏

・パネラー：

　①　ＭＥＤＩＮＴ・村松紀子氏→分科会１の報告、大・小都市のシステムづくりの比較検討

　②　新潟県立大学・坂口淳氏→分科会２の報告、通訳人材育成方策

　③　ＭＩＣかながわ・岩元陽子氏→大都市のシステムづくりの課題と解決法、通訳人材の継続的

　　学習の方策（勉強会の設置）

　④　伊賀の伝丸・和田京子氏→小都市でのシステムづくりの課題と解決法、通訳人材育成方策

　⑤　なら多言語医療通訳サポート・下村晴香氏→観光都市でのシステムづくりの課題と解決法

　⑥　りんくう総合医療センター・南谷かおり氏→外国人患者受入れ拠点病院の役割と課題、医療

　　通訳養成の取組状況